

Topics

鬼北の味に、溢れる笑顔

「きじ鍋まつり」は2月17日、鬼北町農業公社で行われ、「鬼北の味」を堪能しようと町内外から多くの人が訪れました。

当日は、メインとなる「きじ鍋」のほか、「きじ串焼き」や「きじそば」など、特産のきじを使った料理が多数販売され、どのお店にも行列ができるほどの盛況ぶりでした。

また、きじの羽を使ったアクセサリ作りのほか、愛治ちんどんクラブによる演奏も行われ、観客らの笑い声とともに会場を大いに盛り上げました。



「きじ鍋」を求める人の行列(写真上段左)「愛治ちんどんクラブ」が会場に笑いを起こす(写真上段右)作ってもらったアクセサリに思わずにっこり(写真右)



Topics

泉貨紙の「おもしろさ」を学ぶ



アドバイスをもらいながら思い描く作品へと仕上げていく(左)個性的な作品の数々(右)

「大人のための手漉き和紙体験教室」は2月14日、小倉コミュニティセンターで行われ、町外から2組の団体が参加しました。

この日はハガキと創作和紙の手漉きに挑戦。最初は緊張した面持ちにぎこちない手つきでしたが、徐々に手慣れてくると、参加者の顔には楽しそうな笑顔が浮かんでいました。

出来上がった作品はどれも個性的なものばかり。参加者たちは天日干しにしたそれぞれの作品を見ながら、「あんなのもいいね」とお互いに感想を述べ合いました。

町の伝統文化「泉貨紙」。今回の体験を通して、参加者たちはその魅力を十分に堪能できたようでした。

Topics

磨きあげた「鬼北の宝」 未来へと繋げていくために—

2月24日、近永公民館講堂で「SeeD鬼北町協働による地域づくりワークショップ成果発表会『みんなで創ろう未来の鬼北町』」が行われました。

これまで3回に分けて行われてきたワークショップ。その中で、参加者たちはお互いに意見を出し合い、アイデアを絞り出し、「鬼北の魅力」を見つめ直してきました。

今回の発表会では、班ごとに見つけてきた「鬼北の魅力」を発表。そして、それらを子どもたちへ、未来へ伝えていくことの大切さを、参加者全員で再確認しました。



小学生が見つけた「鬼北の好きなところ」。魅力に溢れた町であることを気づかせてくれる(写真左)質問に答える発表者(写真下)



Topics

緊迫した空気の中、響く竹刀の音

2月24日、広見体育センターで「第9回鬼北町冬季剣道スポーツ少年大会」が開催され、出場した選手らが白熱した試合を展開しました。

主な結果は次のとおりです。(敬称略)

【団体の部】

●小学生の部①日吉剣道スポーツ少年団A②近永剣道スポーツ少年団A

●中学生の部①広見中学校B②広見中学校A

【個人の部】

●小学4年生以下の部①井上空②楠岡隼輔③佐伯実邑

●小学5年生の部①小野真希②川口大地③武内力也

●小学6年生の部①山本純大②林翔太③松本俊輔

●中学生の部①平野巖②大瀧悠也③中村洋斗



広見中学校B



日吉剣道スポーツ少年団A